

酒田観光物産協会 会長交代

新会長からのごあいさつ



酒田観光物産協会は、1917年、大正六年に「酒田町物産館」として始まり、今年で百六年の歴史を持つ、酒田の観光・物産振興のための重要な組織です。このたび会長職を拝命し、責任の重さに身の引き締まる思いです。酒田に来て頂く人・酒田に興味を持って頂く人をいかに増やし、いかにお金を使って頂くかを、皆で考え・工夫し・実践していきたいと思えます。

夢の倶楽は、酒田への観光・交流来訪者のバロメーターです。まだまだ厳しい状況が続いていますが五月の「新型コロナウイルス分類変更」が待たれるとともに、外国人の入国規制緩和や円安は観光にとってプラスになります。コロナ禍前の売上に戻すことが急務と考え、まずは雑街道く桜まつりく

ゴールデンウィークく酒田まつりという商機を逃さない様にします。旧商業高校跡地開発事業が始まりました。令和七年三月の開業まで、あと二年余りです。酒田の物産館としてふさわしい施設内容にするためにも酒田市の支援と協力は不可欠であり、夢の倶楽協力会・J・Aみどり山居館と密接な連携のもと取り組んでまいります。

山居倉庫(国指定史跡)については、地元の貴重な観光・地域資源です。観光物産振興に大いに資する施設になることを期待しております。酒田の観光関係組織は大きく四つあります。酒田市、商工会議所、酒田DMO、観光物産協会。役割分担や協力体制を明確にして、総合力を更に発揮できるように努めてまいりたいと思えます。宜しくお願いします。

文化庁 100年フード認定 酒田のラーメン、むきそば おめでとうございます

「地域に根付いた食文化を国内外に広く発信する」文化庁の「百年フード」に三月三日、伝統部門で酒田市から「むきそば」と鶴岡市の「笹巻」が、未来部門で「酒田ラーメン」が選ばれました。今後は「百年フード」のロゴマークを使用することができ、公式ホームページで国内外に広報されます。江戸時代中期に関西から伝わったと言われている「むきそば」。丁寧にごしらえした上品な味はお祭りのお料理、一流料亭の一品として地域に定着しています。これをきっかけに更にすそ野が広がることを期待できます。

華の館は酒田の歴史・文化を映す



海外のお客さんも魅了する「おしん」人形ギャラリー

山居倉庫「夢の倶楽」には酒田の歴史と文化を伝える、ミュージアム・ギャラリーと民芸品の展示・販売を行う「華の館」があります。酒田の豪商本間家が江戸時代に作らせた亀笠鉾や令和元年6月にオープンした「おしん」人形ギャラリーが常設されています。人形作家大滝博子さんの「おしん」人形ギャラリーではおしんの別れのシーン、酒田での奉公のシーンなどが再現されており、国内外の観光客に感動を与えています。更に令和2年、3年に約8点が追加されています。民芸品コーナーには湊酒田を代表す

豪華クルーズ船 3年ぶりに寄港

四月に入り、「酒田北港古湊ふ頭」にクルーズ船が次々入ってきています。「ダイヤモンド・プリンセス」の他、全室スイートルーム仕様の「シルバー・ミュージズ」にスタイリッシュなヨットタイプの「ル・ソレアル」と豪華絢爛。歓迎セレモニーの後、希望者はオプションナルツアードで山居倉庫や羽黒山・加茂水族館を楽しみました。市内を散策するグループも多くありました。埠頭には県内の物産販売やキッチンカーが出店し賑わいました。年内は十一月に二回、「ダイヤモンド・プリンセス」の寄港が予定されています。



歓迎を受けるダイヤモンド・プリンセス (4/14)

日和山 さくらまつり



満開の桜のもと、シートを広げ、お花見

今年は三月三十一日に酒田市の桜開花が発表され、満開の状態、四月八日から四月十七日まで「酒田日和山桜まつり」が開催されました。新入生や新社会人の姿が印象的でした。夜はボンボリに明かりが入り、公園の内千石船もライトアップされました。コロナ感染対策も緩和され、例年に近い形でお花見を楽しむことができました。期間中、約三万人の来場者がありました。舞鶴公園、松山の歴史公園周辺、砂越の桜並木も見事でした。

る光丘彫り、磯草塗などの名工の技、鶴渡川原(うどがわら)人形、刺し子、傘福など、郷土の民芸品を間近に見て、購入することができます。まさに「酒田の物産館」として観光、お土産購入の要となっており。切り絵作家の白旗孝夫さんのポストカード、酒田市在住イラストレーターrikkoさんの酒田の香りを盛り込んだ手拭い、文具の販売もしております。酒田を初めて訪れるお客様は高確率で山居倉庫にいらつしやいます。史跡としての山居倉庫、涼しげなケヤキ並



民芸品から工芸品まで、酒田土産を選ぶなら「華の館」へ

木、静かな新井田川。観光パンフレットやPR映像で「酒田と言えば山居倉庫」というイメージを持たれている方も多いでしょう。そして酒田のお土産を購入の際、専門店を巡る手もありますが、「二ヶ所で酒田の民芸品を観たい。」と夢の倶楽を訪れるお客さまも沢山いらつしやいます。制作一筋でお店を持たない職人さんの作品に出合えるのも「華の館」のメリットです。山居倉庫にあることで、企画展示で歴史を知ること、民芸品が更に輝いて見えるのではないのでしょうか。

訃報

人形作家の辻村寿三郎さんが二月五日に亡くなられました。酒田市観光物産館「酒田夢の倶楽」ができた当初、「華の館」に辻村氏の作品が展示され、豪華で妖艶な魅力のある作品は大きな観光の目玉となり、県内外から沢山のお客さんが来館されました。脚本家 橋田壽賀子さんに続く悲しいお知らせです。ご冥福をお祈りします。

